

公開フォーラム 「歴史・文化をふまえた環境総合教育」

—歴史・文化の視点から多角的に掘り下げる「持続可能な社会につながる環境教育」—

主催: 国学院大学環境教育研究プロジェクトチーム

文部科学省は、現代的教育ニーズにあった教育プログラムで優れたものに対して、現代GP (Good Practice) として支援しております。このほど本学の環境教育プログラムが「持続可能な社会につながる環境教育の推進」部門で、平成18年度の現代GPとして採択されました。本学のこの取組はすでに始まっておりますが、今回は、歴史・文化に焦点を当てて、環境総合教育の在り方をめぐって、外部からの講師に報告していただき、討論いたします。どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上、ぜひご来場下さい。

開催日時: 平成19年2月18日(日) 午後1時～午後5時30分

開催場所: 國學院大學渋谷キャンパス 若木タワー地下1階会議室02

参加費: 無料

第1部 報告(午後1時～午後2時15分) 司会: 柿沼秀雄(文学部教授)

「江戸時代の動物と環境問題」

西本豊弘氏(国立歴史民俗博物館研究部教授)

「民俗学における環境教育の試み～ウミガメ捕獲と海浜環境保護の共存をめざして～」

藤井弘章(國學院大學日本文化研究所専任講師)

第2部 報告(午後2時30分～午後4時) 司会: 加藤季夫(文学部教授)

「武蔵野の二次林と持続可能な地域づくり」

犬井正氏(獨協大学経済学部教授)

「村の成り立ち～持続可能な社会のモデルとして～」

澁澤寿一氏(樹木・環境ネットワーク協会専務理事)

「渋谷ノスタルジー～戦後の映像でたどる渋谷の環境の変化」

佐藤豊氏(渋谷区郷土資料デジタル化保存推進準備室室長)

第3部 パネルディスカッション(午後4時15分～午後5時30分) 司会: 古沢広祐(経済学部教授)

「國學院大學の環境総合教育をめぐって」

報告者: 西本豊弘氏、犬井正氏、澁澤寿一氏、佐藤豊氏、藤井弘章

パネリスト: 小川直之(文学部教授)、根岸茂夫(文学部教授)、茂木栄(神道文化学部助教授)